

【心筋血流シンチ】の検査を受けられた患者さんへ

福岡東医療センター 放射線科で以下の研究を実施しています。

この研究は、過去の診療情報を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」と呼ばれる学術活動です。過去に実施された検査の結果等の診療情報等を利用しますので、患者さんに新たにご負担いただく検査や治療はありません。また、学会で公表する場合も、個人情報の保護には十分配慮し、第三者には誰のものか一切わからないようにします。

患者さんにはご自身の診療情報が使用されることを拒否する権利があります。本研究の対象に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に使用されることを希望されない場合は下記の問い合わせ先にご連絡ください。既に学会発表が行われている場合はデータを削除できない場合がありますのでご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、患者さんが診療上で不利益を被ることはありません。

【研究課題名】	心電図同期心筋血流シンチにおける cardioREPO を使用した LVEF 過大評価抑制の検討
【研究実施期間】	倫理委員会承認日～2028 年 3 月 31 日
【研究実施機関・研究責任者】	独立行政法人国立病院機構 福岡東医療センター 診療放射線科 研究責任者 市野 凌資
【対象となる方】	西暦 2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日に【放射線科】にて【心筋血流シンチグラフィ検査】を受けた方 28 名 【選択基準】心機能解析にて左室収縮末期容積 $ESV \leq 20\text{mL}$ または左室拡張末期容積(以下、EDV) $< 50\text{mL}$ であった症例 【排除基準】 心機能解析が不可能であった症例
【研究の意義、目的、方法】	この研究では、塩化タリウムという薬剤を使った心筋血流シンチグラフィ検査で得られた画像をもとに、cardioREPO という解析ソフトで従来使用しているソフトより正確な値が算出できないかを調べることを目的としました。より正確な値が算出されることで、心不全の重症度分類に役立つ可能性があるかどうかを検証します。 研究の方法は、すでに検査を受けられた患者様のデータを用いて画像を解析し、すでに検査を終えている心エコー検査のデータとの相関性を調べます。
【利用する情報の種類】	診断用画像(核医学検査)
【個人情報の保護】	研究に際して、生年月日、カルテ番号、住所、氏名などの個人が特定できる情報は収集しません。また、研究の結果を公表する際も個人が特定できないよう配慮いたします。

【問い合わせ先】	<p>独立行政法人 国立病院機構 福岡東医療センター</p> <p>研究責任者：放射線科 市野 凌資</p> <p>住所：〒811-3195 福岡県古賀市千鳥 1-1-1</p> <p>電話番号:092-943-2331（代表）</p>
----------	--